5回目の山手中学合気道授業

　振り返れば５年前、「私で役に立つのだろうか」と不安でいっぱい。私の合気道レベルは、名前と動きが一致した？くらいだったと思う。手本の動きを見ただけで、生徒さんと一緒に動けるのだろうか。事前にどんな技をするのか聞いておけばよかったな。最終のテストでは奇数であったため一緒にテストを受けることとなり、私のほうが緊張していた、感じ。

中学生と接するのは何十年ぶり？で、初年度は彼女たちの会話や振る舞いに「自由やなあ」と少し驚かされました。面倒見のいい子、すごっ、と思わせてくれる元気のいい子、合気道すぐできるよ。全然しゃべらない子、授業だから仕方なく参加しているのかと思えば、表情は変えないけど「おもしろい」と一言。お母さん、いやお祖母ちゃん目線でも楽しませてもらいました。

合気道に限らずほとんどの方が身近な環境にないであろう体験を授業の一環で出来るのは、いいな、と思います。いつかどこかで“合気道”を見つけた時「あ、やったことある。面白かったわ」とせいぶ館にやってくるかもしれませんね。